

第 26 回(平成 26 年度 第 1 回) 暁木会・神戸大学意見交換会 議事録

日 時 : 平成 26 年 6 月 12 日 (木) 18:30～20:30
場 所 : 神戸大学工学部 (生協食堂・AMEC³)

【出席者 (敬称略, 順不同)】

暁木会 : 畑, 宇都, 中山, 芦田, 伊賀, 山下, 北田, 矢野, 小川 (9 名)

大 学 : 藤田, 川谷, 澁谷, 森川, 井料, 内山, 小林, 橋本, 加藤 (9 名)

【配布資料】

資料 1 : 第 26 回 (平成 26 年度第 1 回) 暁木会・神戸大学意見交換会議事次第

【議事】

1. 暁木会会長挨拶

第 26 回暁木会・神戸大学意見交換会の開会にあたり, 畑会長より挨拶がなされた.
東京支部総会の様子が紹介され, 若い会員の勧誘が大切であることが述べられた.

2. 市民工学専攻長挨拶

- ・ 第 26 回暁木会・神戸大学意見交換会の開会にあたり, 藤田専攻長より挨拶がなされた.
- ・ OB 会である暁木会には, プロジェクトマネジメント, 助成金等で市民工学科・専攻の教育活動・教育環境の充実に対して日頃から多大なる貢献をいただいていることに対し, 改めて感謝の意が表明された.
- ・ 教室としても, 若い優秀な学生を獲得するために, 予備校訪問を企画していることが紹介された.

3. 学術振興基金助成金の贈呈

暁木会より市民工学教室へ学術振興基金助成金が贈呈された.



写真 1 : 畑会長より藤田専攻長への助成金の贈呈

4. 乾杯

澁谷教授の挨拶ののち、乾杯が行われた。

5. 自己紹介

配布資料の名簿順に暁木会側、教室側の自己紹介が行われた。

6. 暁木会からの報告

(1) 平成 25 年度総会ならびに懇親会報告

- 3/25 に楠公会館にて実施され、合計 179 名が出席した。
- 前年度からの課題であった総会開始時間、総会時のマナーについては、意見交換会を通じて、大学側にお願いして周知・指導いただいたために、スムーズに行えた。今年度も、指導周知をお願いしたい旨を大学側に伝えられた。
- 前年度は、学生の自己紹介に時間がかかったが、名前と就職先に自己紹介の内容を限定したために、スムーズな進行が行えた。
- H26 年度は、2015 年 3 月 25 日に実施予定。今年度も教室での学位授与式の際に暁木会紹介の時間をいただきたいとの要望が出された。

(2) 年間行事予定

- 意見交換会 第 26 回 6/12, 第 27 回 10/9, 第 28 回 1/15
- 6/6 東京支部総会（出席教員：加藤准教授）、8/1 広島支部（出席教員：芥川教授）、9 月東海支部および 10 月岡山支部は実施日未定。

(3) 名簿発行について

- 現在、名簿の照会を職場班で実施中。その後、KTC よりメール照会を行い、職場班照会のデータに反映させる。また、学年幹事による同窓会情報を反映させる。H24,25 年度卒業生の情報に関しては、大学から提供する。
- 8/18 が最終締め切りとして取りまとめ、12/5 に発行予定。

(4) 会費会員増強方策について

- 現時点での会費登録会員数は 1,148 名。5/9 付新規入会は 81 名。今年度予算では 1,200 名としているので、52 名不足している状態である。
- 職場班での名簿照会時に、未加入者に加入を勧めるようお願いする予定。さらに、卒業後 10 から 15 年の卒業生に加入を勧めるよう働きかける予定である。また、学生の仮会員登録もお願いして、H25 年度は 3 名の登録があった。

(5) 暁木会ニュース目次案

- 暁木会ニュース No.27 の発刊は 9/1 を予定。
研究報告（加藤教学委員が調整）、現役学生生活紹介（就職活動レポート：加藤教学委員が調整）の 2 件が教室に依頼され、了承された。各記事は 2 ページ程度を目安とする。
- 創造思考ゼミナールについても記事執筆を依頼してはどうかという意見が出され、藤田専攻長が担当することとなった。
- 暁木会ニュースは、今年度は名簿発行があるために年 3 回となっている。
9 月の No.27 は WEB 版でページ数に制限はない。12 月の No.28 は WEB 版と紙印刷を行い、名簿の発送に同封する。3 月の No.29 は WEB 版と紙印刷を行い、KTC 機関紙の発送に同封する。

8. その他：

○学生と同窓会の交流について

以下のような意見交換があった。

- 昨年度の意見交換会でも意見があった。このような会に、学生も加えて交流を行ってはどうか（藤田）。
- 『暁木地盤の会』という交流会を地盤系では行っている（学生も含め 40 名程度）。パイが大きくなると学生が委縮するし、研究室だけでは単位としては少ないように思う。（澁谷）
- ゼミに入る前に、現場の生の声を聴くことが、学生にメリットがある。10 年會に補助を出して、交流会を持っていたらどうか（澁谷）。
- 一水會に若い人が来られるように補助をするような試みを行ってはどうか（畑）。
- 就職活動の前の段階で、交流を持つようにしたほうが良い（藤田）。
- キャリアアップゼミを一つの接点としてもよいのではないか。このゼミでは、OB の講演とその後に親睦会も行われている。OB 會からさらに、バックアップをいただければと考える（内山）。
- キャリアアップゼミを一つのコアとして拡大する可能性も考えられる（藤田）。
- OB 會のキャリアアップゼミへのバックアップを、今後、拡大する方向で考えたい（畑）
- キャリアアップゼミの開催アナウンスを、今後、暁木會にも流し、OB に自由に参加をして、現場の生の声を話してもらえる機会を作ってはどうか（藤田）。
- 一水會のメンバーも若い人との交流を望んでいるので、そういう機会を設けてはどうか（川谷）。

以上のような意見を参考に、今後、検討することとなった。

○名簿の回生表記について

回生と卒業年次の対応表を名簿につけてほしいとの要望が出された。

○暁木會助成金の使途について

助成金から海外インターンシップの補助金を出す制度を今後、設立したい旨とその背景が藤田専攻長と川谷教授から説明された。さらに、KTC の学生海外援助派遣の中に海外インターンシップの補助を加えることを、暁木會の KTC 理事を通じて KTC へお願いいただきたいという教室からの要望が伝えられた。

9. 閉會

【今後の予定】

平成26年10月9日（木）18:30～

第24回（H25年度第2回）意見交換會

場所：未定

平成 27 年 1 月 15 日（木）19:00～

第 25 回（H25 年度第 3 回）意見交換會



写真 2：意見交換会の様子。活発な議論が行われました。